

被服ライフサイクル延長の視点から見た 大学生の被服入手と処分行動

Attitude of Obtaining and Disuse of Clothing as University Students
for Extending the Total Life Cycle of Clothing

長 山 芳 子 有 蘭 美 和

Yoshiko NAGAYAMA

Miwa ARIZONO

Fukuoka University of Education, Urbis Home, Inc.

(福岡教育大学 (株)アービスホーム)

(平成19年10月1日受理)

Summery

The purpose of this study was twofold: to collect information on obtaining and dealing with clothing of students and to identify their common problems of dealing methods for extending the total life cycle of clothing. The survey was conducted on university students in Japan from October to December 2005. Questionnaires were examined with a focus on dwelling, age and gender. Students obtained clothing except underwear at boutiques, department stores and secondhand stores. 51.7% of male and 73.3% of female had several disused items. The most reasons for the disuse were to be stained and be not one's size. Most students threw away and stored their items. 88.7% of students didn't know a location of recyclable resource collections. However, they desired to use the official service which recyclable disused clothing are collected, if available. It is recommended that students should be given useful information for management of their clothing and recyclable resource collection by school and society.

1. 緒言

循環型社会形成促進による3R活動¹⁾やグリーン購入²⁾も提唱されている。

被服についてみると、繊維系廃棄物の場合、繊維系廃棄物の91%が埋め立て・焼却、リユースは7%, リサイクル2%との報告³⁾がある。また衣料品などを含めた繊維製品全体の再商品化率(リユース・リサイクル量/排出量)は10%程度である⁴⁾。アパレル産業協会「アパレル・リサイクルシステム開発委員会」が設定した日本全体のリサイクル率(達成目標)が2001年10%, 2005年20%木田⁵⁾という数字をみても、被服リサイクルの難しさの一端が伺える。

国や企業の動きとは対照的に、生活者は循環型社会に対する行動は緩慢である。

被服のライフサイクルエネルギーコスト面では、商品の原材料から廃棄に至る全ての過程で、エネルギーを必要としている。特に、繊維製品1着を

生産するために投入されるエネルギー量とコストがかかっている⁶⁾ことを考慮すると、リサイクルの前に、リユースを検討することが専決である。

循環型社会形成と継続可能な衣生活行動として、①被服のライフサイクルを伸ばすこと: 環境に配慮した商品を用いて、長く使用する。②環境への排出量を削減し、環境負荷を軽減する。③循環型社会を成立させること: リサイクルに出した製品が再生された商品を購入することであると考える。

生活者が日常かかわることができるのは、入手から、使用、手入れ・保管、不要品処分の過程であることから、まずRefuse(拒否)→次にReduce→Reuse→Repair(修理)→Reform(作り直す)→Recycle→Green購入の順に行動し、Rental(貸借)も選択肢に加える。なお、Reduceは、廃棄物等の発生抑制ではなく、入手段階を含めた「使用量削減」と捉えることを提案したい。

そこで、本研究では被服ライフサイクル延長の

視点から、被服の入手と処分について検討することを目的とした。今回は大学生に焦点をあてることにした。大学生は、一人暮らしを始める人も多く、被服においても供給と消費を管理している場合が多い。この時期に、入手と処分を中心とした被服行動について考える機会を提供することが、循環型衣生活への第一歩となると考えたからである。

2. 研究方法

2.1 調査対象

対象は、本大学3年生91名（男性44名、女性47名）、4年生86名（男性43名、女性43名）とした。有効回答数177人であった（Table 1）。

Table 1 Attributes of university students

Gender	Dwelling	Juniors (n)	Seniors and over (n)	Total (n)	Total (%)
Male	Home	12	6	18	20.7
	Apartment	32	26	58	66.7
	Dormitory	0	11	11	12.6
	Total	44	43	87	100.0
Female	Home	11	13	24	26.7
	Apartment	29	26	55	61.1
	Dormitory	7	4	11	12.2
	Total	47	43	90	100.0

2.2 調査時期および方法

調査は2005年10月～11月、方法は自記式配表調査法とし、集合調査と個別調査を併用した。

2.3 調査項目および集計方法

アンケート調査項目は、被服の入手方法、入手枚数、被服が不用になったと感じる時、不用被服の処理方法など計27項目、対象者属性として性別、学年、住まいなど5項目とした。

データの集計および解析は、集計ソフトEXCELおよび統計処理ソフトSPSSを用いた。

3. 結果と考察

3.1 被服の入手について

3.1.1 被服の入手方法

被服の入手方法について、下着・靴下類、Tシャツ・トレーナー類、シャツ・ブラウス類、ズボン・スカート類、帽子・マフラー類に分けて、1位から3位まで質問した結果をTable 2に示した。

一番よく購入する方法としては、男女ともに下着・靴下類はデパートで購入する人が多く、その他の服種についてはブティック・専門店での購入

が多い。スーパーマーケットと続く。

一方、Tシャツ類、シャツ類、ズボン類、帽子類では、男女ともに専門店での購入が最も多かった。1位から3位までを含めると男女とも80%近くの利用率である。次に多いのはデパートであるが、古着屋がそれに続いていた。

近年「古着ブーム」ともいわれ古着を取り扱う店舗が増えていることが、学生の古着購買状況からも伺える。性別でみると、どの被服も古着購買の利用率は男子の方が高い傾向にあった。このことは譲り受ける古着が、男子は友達から多いことにも繋がっており、男子の方が古着に対する許容量が高いことが推察される。一方、女子は家族から譲り受けることが多いが、これは母親や姉妹との共有が比較的行われ易いことが考えられる。

フリーマーケットでの被服購入は、男女とも低い傾向にあった。フリーマーケットに関心が低いあるいは開設情報を知らないという状況も考えられる。

通信販売での購入は全体的に低いが、その中でも女子下着の利用率が高かった。

インターネットの利用率は男女ともに、どの衣料も少なかった。大学生のほとんどがパソコンあるいは携帯電話を所有していることからネットの利用率は多くなると予想される。

自分で製作するのはわずか女子にみられ、製作するのは帽子やマフラーのみであった。

3.1.2 被服の入手頻度

被服の入手枚数については、下着類、Tシャツ類、シャツ類、ズボン類は1ヶ月あたりの平均入手枚数について、ジャケット類、帽子類は、1月から10月までの入手枚数とし、Table 3に示した。

下着類、Tシャツ類、シャツ類、ズボン類の場合、毎月0～1枚程度が男女ともに最も多い。

入手枚数2～3枚は、女子の下着類が比較的多くなっているが、女子の場合はショーツ、ブラジャー、キャミソールなど日常身に付ける下着の種類が多いことやストッキング利用などが影響していると推察された。

月2～3枚入手は、Tシャツ類が男女ともに4割弱、シャツ類も3割弱であった。Tシャツ類は、比較的手入れしやすい服種の1つといえる。

ジャケット類では、10ヶ月に10枚以上という男子が3.4%、女子が4.4%いたが、最も多かったのは2～3枚入手であり、男子の37.9%、女子の56.8%であった。ジャケット類は、男子の方が4～5枚、6枚以上の入手が多い傾向にあった。

Table 2 How do you obtain your clothing usually?

		Male n=87										Female n=90				
		1st choice					2nd					3rd				
Items	Contents	1st choice	2nd	3rd	Total (%)	Total (n)	1st	2nd	3rd	Total (%)	Total (n)	1st	2nd	3rd	Total (%)	Total (n)
Socks / underwears	Buy at boutique	32.2	17.2	17.2	66.7	(58)	42.2	28.9	5.6	76.7	(69)					
	Buy at department store	40.2	32.2	4.6	77.0	(67)	40.0	34.4	11.1	85.6	(77)					
	Buy at secondhand store		3.4	8.0	11.5	(10)		3.3		3.3	(3)					
	Buy at supermarket	19.5	25.3	18.4	63.2	(55)	14.4	17.8	15.6	47.8	(43)					
	Buy by mail order		3.4	1.1	4.6	(4)	3.3	10.0	22.2	35.6	(32)					
	Buy at flea market	1.1		3.4	4.6	(4)					(0)					
	Buy at internet auction			2.3	2.3	(2)			5.6	5.6	(5)					
	Hand down from family	2.3	1.1	10.3	13.8	(12)			3.3	3.3	(3)					
	Hand down from friend	1.1		1.1	2.3	(2)			2.2	2.2	(2)					
	Sewing by oneself			1.1	1.1	(1)					(0)					
	Others	3.4	17.2	32.2	52.9	(46)		5.6	34.4	40.0	(36)					
T-shirts / sweats	Buy at boutique	63.2	11.5	8.0	82.8	(72)	50.0	18.9	7.8	76.7	(69)					
	Buy at department store	16.1	27.6	17.2	60.9	(53)	38.9	33.3	8.9	81.1	(73)					
	Buy at secondhand store	16.1	40.2	10.3	66.7	(58)	3.3	18.9	25.6	47.8	(43)					
	Buy at supermarket	1.1	5.7	6.9	13.8	(12)	4.4	13.3	11.1	28.9	(26)					
	Buy by mail order	2.3	2.3	4.6	9.2	(8)		4.4	4.4	8.9	(8)					
	Buy at flea market		1.1	8.0	9.2	(8)			2.2	2.2	(2)					
	Buy at internet auction		1.1	2.3	3.4	(3)	1.1		1.1	2.2	(2)					
	Hand down from family		2.3	6.9	9.2	(8)	2.2	3.3	16.7	22.2	(20)					
	Hand down from friend	1.1	1.1	16.1	18.4	(16)		4.4	5.6	10.0	(9)					
	Sewing by oneself			1.1	1.1	(1)					(0)					
	Others		6.9	18.4	25.3	(22)		3.3	16.7	20.0	(18)					
Shirts / blouses	Buy at boutique	57.5	17.2	8.0	82.8	(72)	47.8	24.4	11.1	83.3	(75)					
	Buy at department store	23.0	27.6	20.7	71.3	(62)	38.9	38.9	7.8	85.6	(77)					
	Buy at secondhand store	12.6	33.3	16.1	62.1	(54)	4.4	8.9	20.0	33.3	(30)					
	Buy at supermarket	2.3	5.7	9.2	17.2	(15)	5.6	7.8	16.7	30.0	(27)					
	Buy by mail order	2.3	2.3	1.1	5.7	(5)	1.1	6.7	4.4	12.2	(11)					
	Buy at flea market			4.6	4.6	(4)			4.4	4.4	(4)					
	Buy at internet auction		1.1	2.3	3.4	(3)			3.3	3.3	(3)					
	Hand down from family	1.1	3.4	6.9	11.5	(10)	2.2	5.6	10.0	17.8	(16)					
	Hand down from friend		1.1	8.0	9.2	(8)		2.2	4.4	6.7	(6)					
	Sewing by oneself			1.1	1.1	(1)					(0)					
	Others	1.1	8.0	21.8	31.0	(27)		5.6	17.8	23.3	(21)					
Pants / skirts	Buy at boutique	65.5	13.8	6.9	86.2	(75)	48.9	27.8	8.9	85.6	(77)					
	Buy at department store	16.1	29.9	21.8	67.8	(59)	37.8	38.9	6.7	83.3	(75)					
	Buy at secondhand store	13.8	36.8	12.6	63.2	(55)	5.6	10.0	28.9	44.4	(40)					
	Buy at supermarket	1.1	4.6	9.2	14.9	(13)	4.4	11.1	11.1	26.7	(24)					
	Buy by mail order	2.3	3.4	5.7	11.5	(10)	1.1	3.3	6.7	11.1	(10)					
	Buy at flea market			4.6	4.6	(4)			4.4	4.4	(4)					
	Buy at internet auction			1.1	1.1	(1)		1.1		1.1	(1)					
	Hand down from family		1.1	6.9	8.0	(7)	2.2	1.1	10.0	13.3	(12)					
	Hand down from friend	1.1	2.3	8.0	11.5	(10)		3.3	6.7	10.0	(9)					
	Sewing by oneself			1.1	1.1	(1)			1.1	1.1	(1)					
	Others		8.0	21.8	29.9	(26)		3.3	15.6	18.9	(17)					
Jackets / coats	Buy at boutique	70.1	11.5	4.6	86.2	(75)	52.2	25.6	7.8	85.6	(77)					
	Buy at department store	12.6	34.5	18.4	65.5	(57)	37.8	38.9	11.1	87.8	(79)					
	Buy at secondhand store	10.3	35.6	16.1	62.1	(54)	4.4	7.8	18.9	31.1	(28)					
	Buy at supermarket	1.1	3.4	9.2	13.8	(12)	1.1	12.2	12.2	25.6	(23)					
	Buy by mail order	2.3	3.4	2.3	8.0	(7)	1.1	4.4	8.9	14.4	(13)					
	Buy at flea market			5.7	5.7	(5)			2.2	2.2	(2)					
	Buy at internet auction	1.1	3.4	1.1	5.7	(5)					(0)					
	Hand down from family	1.1		9.2	10.3	(9)	2.2	3.3	14.4	20.0	(18)					
	Hand down from friend		1.1	9.2	10.3	(9)		2.2	2.2	4.4	(4)					
	Sewing by oneself			1.1	1.1	(1)					(0)					
	Others	1.1	6.9	23.0	31.0	(27)	1.1	5.6	22.2	28.9	(26)					
Hats / mufflers	Buy at boutique	59.8	8.0	8.0	75.9	(66)	52.2	16.7	6.7	75.6	(68)					
	Buy at department store	14.9	33.3	16.1	64.4	(56)	32.2	40.0	8.9	81.1	(73)					
	Buy at secondhand store	10.3	27.6		51.7	(45)	2.2	11.1	17.8	31.1	(28)					
	Buy at supermarket	3.4	4.6	10.3	18.4	(16)	3.3	10.0	13.3	26.7	(24)					
	Buy by mail order	1.1	4.6	2.3	8.0	(7)		3.3	5.6	8.9	(8)					
	Buy at flea market		1.1	4.6	5.7	(5)			5.6	5.6	(5)					
	Buy at internet auction	1.1	1.1	2.3	4.6	(4)					(0)					
	Hand down from family			6.9	6.9	(6)	2.2	6.7	5.6	14.4	(13)					
	Hand down from friend	2.3	2.3	5.7	10.3	(9)			3.3	3.3	(3)					
	Sewing by oneself			2.3	2.3	(2)	5.6	1.1	10.0	16.7	(15)					
	Others	6.9	17.2	27.6	51.7	(45)	2.2	11.1	23.3	36.7	(33)					

帽子類では、男子の 65.5%、女子の 68.9%が 10 ヶ月間 0～1 枚であった。この中には「買わない」「着用しない」というコメントを記載した回答もあり、小物類は使用頻度の個人差が大きいといえる。

3. 2 着用されていない被服について

3. 2. 1 着用されていない被服の種類

1 年間に増加する被服枚数について、入手割合から推測すると、靴下類とTシャツ類は 17～20 枚程度ある。シャツ類も 14 枚程度、パンツ類 10～13 枚、ジャケット類 3 枚程度は増加してい

る。毎年増えていく被服をどのように管理し、処理しているのだろうか。

着ないでそのまま保存された状態になっている被服（以下、死蔵被服）があるかどうか、2 項選択形式で質問した結果を、Table 4 に示した。

死蔵被服があると認識している学生は、男子 51.7%（3 年生の 50.0%、4 年生の 53.5%）、女子 73.3%（3 年生の 63.8%、4 年生の 83.7%）であり、男子よりも女子の方が 1%危険率で有意に多かった。学年および住まい方には、有意な差は認められなかったが、4 年生女子が最も死蔵被服を認識しているといえる。

Items	Male n=87					Female n=90				
	0～1 /a month	2～3	4～5	over 6	Total	0～1/month	2～3	4～5	over 6	Total
Socks / underwears	63.2	29.9	4.6	2.3	100.0	55.6	42.0	4.9	2.1	100.0
T-shirts / sweats	57.5	37.9	2.3	2.3	100.0	63.3	38.3	2.5	0.0	100.0
Shirts / blouses	71.3	25.3	2.3	1.1	100.0	73.3	28.4	1.2	0.0	100.0
Pants / skirts	86.2	11.5	2.3	0.0	100.0	78.9	21.0	1.2	1.1	100.0
Items	0～1/10month	2～3	4～5	over 6	Total	0～1/year	2～3	4～5	over 6	Total
Jackets / coats	28.7	37.9	21.8	11.5	100.0	30.0	56.8	12.3	7.4	100.0
Hats / mufflers	65.5	25.3	6.9	2.3	100.0	68.9	28.4	6.2	0.0	100.0

Table 4 Do you have any disused items within your clothing ? (number)

School year	Dwelling		Gender **		Total
			Male	Female	
Juniors	Home	Yes	5	4	9
		No	7	7	14
	Apartment and others	Yes	17	26	43
		No	15	10	25
Seniors and over	Home	Yes	2	13	15
		No	4		4
	Apartment and others	Yes	21	23	44
		No	16	7	23
Total		Yes	45	66	111
		No	42	24	66

** : p<0.01 between gender

Table 5 Do you have disused items within your clothing ?

Items	Male n=45		Female n=66		Total n=111	
	(%)	grade	(%)	grade	(%)	grade
Socks / underwears	22.2	19	31.8	39	22.3	58
T-shirts / sweats	97.8	96	51.5	76	34.3	172
Shirts / blouses	31.1	32	45.5	63	14.9	95
Pants / skirts	40.0	35	69.7	97	25.7	132
Jackets / coats	33.3	35	21.2	30	11.5	65
Sweaters/cardigans	17.8	15	31.8	44	15.6	59
Hats / mufflers	24.4	16	30.3	28	29.8	44
Others	33.3	22	18.2	19	26.2	41

3. 2. 2 死蔵被服の種類について

死蔵被服の種類について、多い順に3位まで質問した結果を、Fig. 1に示した。

また1位回答を評点3点、2位2点、3位1点とし、項目ごとに得点を算出し、Table 5に示した。

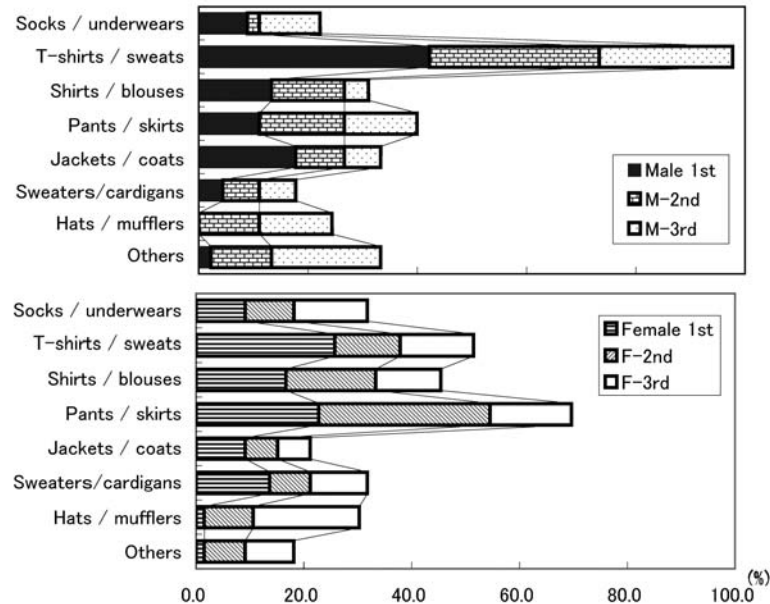


Fig.1 Do you have disused items within your clothing ?

死蔵被服の種類では、1位の回答が多かったのは男子ではTシャツ類、ジャケット類、シャツ類であった。男子Tシャツ類は1位42.2%であり、3位まで含めると、死蔵被服があると認識している男子の97.8%に及ぶ。評点についても、死蔵していると認識されている被服は、男子の場合はTシャツに集約される。3.1.2の被服入手枚数はTシャツ類が多いことから、着用していない枚数が相対的に多く、男子の方が日常着用するTシャツの枚数は限定されていると推察される。

女子の場合は、1位の回答が多いのはTシャツ25.8%であるが、3位まで含めると51.5%であった。パンツ類は1位22.7%とTシャツ類との差は少なく、3位まで含めると、女子の死蔵被服はパンツ・スカート類69.7%が最も多くなる。評点ではパンツ類、Tシャツ類、シャツ類の順であった。女子の場合、ズボン類とスカート類の両方を所持する傾向にあり、死蔵被服も増加したものと推察された。

これら死蔵被服の場合、所有して事を忘れている場合もあるが、着用される可能性は低いと考えられることから、どのように処理するか検討する必要がある。

3. 3 不用被服とその処理方法

3. 3. 1 被服が不用になった理由

被服が不用になったと思うのはどのような状況であるか、選択肢3つまでの制限付複数回答で質問した。

死蔵被服があると回答した（死蔵被服所有）グループと回答しなかった（死蔵被服不所有）グループに分け、複数回答の総数をTable 6に示した。

着用しなくなる理由が最も多かったのは、男女ともに「しみ・汚れ・色あせ」であり、男子の51.7%、女子の57.5%が選択している。これは、外観の色変化が被服の着用価値を下げる重要な要素であると言える。

次に「サイズが合わなくなったとき」が、男女ともに多い理由であった。10代後半から20代前半の身長や体重などの体型変化は、他の年齢層に比べ、比較的少ない時期である⁷⁾。岡村らも着用しなくなる理由として「サイズが合わなくなる」は小6～高3に比べ、大学生は大きく減少していると報告している⁸⁾。しかし、大学生各個人では、部分的なサイズ増加の場合や、体重コントロールによるサイズ減少によって、被服サイズを変えるほどの身体各部のサイズ変化を実感していると推察される。

男子の場合は、3番に「着飽きた」理由が多く

Table 6 What conditions is the disused clothing that you think?

Conditions	Male				Female				Total n=177	
	A group, n=45		B group, n=42		A group, n=66		B group, n=24			
	(n)	(%)	(n)	(%)	(n)	(%)	(n)	(%)	(n)	(%)
Be stained	20	44.4	25	59.5	35	53.0	15	62.5	95	53.7
Be not one's size	16	35.6	19	45.2	31	47.0	12	50.0	78	44.1
Be threadbare	10	22.2	14	33.3	27	40.9	10	41.7	61	34.5
Be out of fashion	14	31.1	6	14.3	28	42.4	11	45.8	59	33.3
Be satiated	16	35.6	15	35.7	15	22.7	6	25.0	52	29.4
Be ill-matched	18	40.0	10	23.8	17	25.8	3	12.5	48	27.1
get a new clothes	16	35.6	10	23.8	17	25.8	1	4.2	44	24.9
Change in shape	10	22.2	10	23.8	13	19.7	7	29.2	40	22.6
Seasonal change of clothing	7	15.6	4	9.5	10	15.2	5	20.8	26	14.7
Others	1	2.2	0	0.0	3	4.5	1	4.2	5	2.8
Total	128		113		196		71		508	

A group: hold disused clothing B group: don't hold disused clothing

なった。死蔵被服所有男子では「似合わなくなった」「新調した」「流行遅れ」も多かった。男子の場合、「着飽きる」まで被服を着用する傾向にあるが、死蔵被服所持男子は、さらに着装外観を評価したり、新しい被服をよく着用したり、流行を気にしたりなど、被服への関心が高いのではないかと考えられる。

女子の場合、3番目に多い理由は死蔵被服所有・不所有ともに「流行遅れ」「すり切れ・破れ」が多かった。女子は、男子に比べ流行を気にする傾向にあるといえる。また、すり切れや破れるまで着用する被服もあるとも考えられるが、婦人服は紳士服に比べて、デザインや風合いを優先させた製品が多く、織りや編み組織が繊細で糸の引き抜け（スナッグ）やピリングなどが出来やすいことも一因と考えられる。

3. 3. 2 不用被服の処理

不用になった被服をどのように処理しているか、服種毎に2位まで質問した結果を、Table7に示した。

下着・靴下類の場合、「捨てる」ことが最も多かった。1位だけでみても、男女ともに86%を占めており、次の「そのまま放置している」は男女とも10%未満である。「フリーマーケットに出す」「ネットオークションに出す」という回答は出現しなかった。下着類は肌に直接触れて着けているものでもあり、不用となったと思えば直ぐにゴミとして廃棄処分するものと言える。

Tシャツ類、シャツ・ブラウス類、パンツ類も、「捨てる」を1位にした男女が多いが、その割合はほとんど40%未満であり、下着に比べて低くなっ

ている。「そのまま放置している」割合は逆に増加し、男女の30%近くが1位と回答している。これらの被服は、不用になれば直ぐに廃棄する被服と、不用になったと思って捨てるられずにそのまま放置している被服があることを示していると考ええる。

また、Tシャツ類、シャツ類、パンツ類は、「譲る」という割合も高くなった。男子の場合は、家族あるいは友人に譲ることが同程度に行われており、身近な関係として友人間のつながりも大きいと言える。女子では家族に譲ることがほとんどであった。女子の場合は、母親や姉妹間で被服を共有も含め、自分で着用しない被服はまず家族に譲って着用してもらう傾向があると言える。

ジャケット・コート類は、「そのまま放置している」方が「捨てる」よりも多く、家族あるいは友人に譲る行為も増加していた。Tシャツ類、シャツ類、パンツ類に比べ、価格が高いことや着用頻度も少ないことや損傷が少ないことなどから、例えば流行遅れになったり似合わなくなったりしてもなかなか廃棄できず、いつか着る機会が来るかもしれないという思いも含めて、そのまま放置されているのではないかと考える。しかし、この放置が死蔵衣服につながっていくケースが多いことから、他の処理方法を検討することを勧めたい。

不用被服を処理する場合、学生各自はどのような方法を選択するのか、Tシャツ類、シャツ類、パンツ類、ジャケット類および帽子類の被服に対して、処理方法の1位あるいは2位の合計をTable 8に示した。

「捨てる」学生は39.5%、「そのまま放置している」学生は41.2%である。このうち、「捨てる」と

Table 7 How do you deal with the clothing which became disused?

Items	Contents	Male n=87				Female n=90			
		1st choice (%)	2nd (%)	Total(%) ¹⁾	Total(n)	1st (%)	2nd (%)	Total(%) ²⁾	Total(n)
Socks / underwears	Throw away	86.2	4.6	90.8	79	86.7	8.9	95.6	86
	Store	8.0	42.5	50.6	44	8.9	38.9	47.8	43
	Give family	3.4	9.2	12.6	11	1.1	6.7	7.8	7
	Give friend	1.1	4.6	5.7	5	0.0	0.0	0.0	0
	Sell to secondhand store	1.1	1.1	2.3	2	0.0	1.1	1.1	1
	Recycling/minor alteration	0.0	2.3	2.3	2	0.0	0.0	0.0	0
	Put recyclable waste collectio	0.0	0.0	0.0	0	1.1	2.2	3.3	3
	Others	0.0	35.6	35.6	31	2.2	42.2	44.4	40
	Total	100.0	100.0			100.0	100.0		
T-shirts / sweats	Throw away	39.1	25.3	64.4	56	34.4	21.1	55.6	50
	Store	27.6	26.4	54.0	47	30.0	22.2	52.2	47
	Give family	18.4	16.1	34.5	30	25.6	17.8	43.3	39
	Give friend	11.5	17.2	28.7	25	2.2	4.4	6.7	6
	Sell to secondhand store	3.4	1.1	4.6	4	2.2	6.7	8.9	8
	Sell at flea market	0.0	0.0	0.0	0	0.0	2.2	2.2	2
	Sell by net-auction	0.0	0.0	0.0	0	0.0	1.1	1.1	1
	Recycling/minor alteration	0.0	0.0	0.0	0	3.3	2.2	5.6	5
	Put recyclable waste collectio	0.0	0.0	0.0	0	1.1	5.6	6.7	6
	Others	0.0	13.8	13.8	12	1.1	16.7	17.8	16
	Total	100.0	100.0			100.0	100.0		
Shirts / blouses	Throw away	40.2	23.0	63.2	55	37.8	24.4	62.2	56
	Store	26.4	29.9	56.3	49	30.0	22.2	52.2	47
	Give family	19.5	12.6	32.2	28	21.1	13.3	34.4	31
	Give friend	10.3	17.2	27.6	24	3.3	7.8	11.1	10
	Sell to secondhand store	3.4	1.1	4.6	4	3.3	4.4	7.8	7
	Sell at flea market	0.0	0.0	0.0	0	0.0	4.4	4.4	4
	Recycling/minor alteration	0.0	0.0	0.0	0	2.2	2.2	4.4	4
	Put recyclable waste collectio	0.0	0.0	0.0	0	1.1	3.3	4.4	4
	Others	0.0	16.1	16.1	14	1.1	17.8	18.9	17
	Total	100.0	100.0			100.0	100.0		
Pants/ skirts	Throw away	37.9	21.8	59.8	52	32.2	23.3	55.6	50
	Store	27.6	28.7	56.3	49	36.7	26.7	63.3	57
	Give family	17.2	13.8	31.0	27	18.9	11.1	30.0	27
	Give friend	13.8	19.5	33.3	29	3.3	5.6	8.9	8
	Sell to secondhand store	3.4	1.1	4.6	4	2.2	4.4	6.7	6
	Sell at flea market	0.0	0.0	0.0	0	0.0	3.3	3.3	3
	Recycling/minor alteration	0.0	0.0	0.0	0	4.4	1.1	5.6	5
	Put recyclable waste collectio	0.0	0.0	0.0	0	0.0	6.7	6.7	6
	Others	0.0	14.9	14.9	13	2.2	17.8	20.0	18
	Total	100.0	100.0			100.0	100.0		
Jackets / coats	Throw away	24.1	19.5	43.7	38	22.2	20.0	42.2	38
	Store	34.5	23.0	57.5	50	40.0	24.4	64.4	58
	Give family	24.1	14.9	39.1	34	26.7	13.3	40.0	36
	Give friend	12.6	23.0	35.6	31	4.4	6.7	11.1	10
	Sell to secondhand store	3.4	2.3	5.7	5	3.3	3.3	6.7	6
	Sell at flea market	0.0	1.1	1.1	1	1.1	5.6	6.7	6
	Recycling/minor alteration	0.0	0.0	0.0	0	1.1	1.1	2.2	2
	Put recyclable waste collectio	0.0	0.0	0.0	0	0.0	6.7	6.7	6
	Others	1.1	16.1	17.2	15	1.1	18.9	20.0	18
	Total	100.0	100.0			100.0	100.0		
Hats / muffler	Throw away	31.0	23.0	54.0	47	30.0	25.6	55.6	50
	Store	34.5	21.8	56.3	49	41.1	24.4	65.6	59
	Give family	17.2	11.5	28.7	25	22.2	11.1	33.3	30
	Give friend	8.0	17.2	25.3	22	0.0	4.4	4.4	4
	Sell to secondhand store	3.4	0.0	3.4	3	3.3	3.3	6.7	6
	Sell at flea market	0.0	0.0	0.0	0	0.0	3.3	3.3	3
	Recycling/minor alteration	0.0	0.0	0.0	0	2.2	2.2	4.4	4
	Put recyclable waste collectio	0.0	0.0	0.0	0	0.0	1.1	1.1	1
	Others	5.7	26.4	32.2	28	1.1	24.4	25.6	23
	Total	100.0	100.0			100.0	100.0		

1) rate to 87 numbers, 2) rate to 90 numbers

「そのまま放置している」行為しかとっていない学生が18.6%である。

37.9%の学生が、「捨てる」「放置」以外の行動をとっているが、「資源物受入施設に持っていく」は、女子の7.8%に出現したのみであった。著者らの2004年調査においても「リサイクル」という男女は9.3%にすぎなかった⁹⁾。被服リサイクル意識は低いといえる。

被服リサイクル延長行動の視点から、入手方法と処理方法を比較した。Tシャツ類、シャツ類、パンツ類、ジャケット類および帽子類の被服について、いずれか一種類でも、1位あるいは2位にその行為を選択した学生の割合をFig.2に示した。

「譲る」行為については、家族や友人から被服をもらう学生は少なが、女子は家族に、男子は友人に譲る傾向にあると言える。自分は被服を譲り受けて着ることが少ないことから、身近にいる家

族や友人に譲ることによって着てもらいたいと願っている場合もあるが、被服の処理を委ねている場合もあると考えられる。

「古着屋での売買」については、被服を入手する場合に利用する割合が高かったのに対して、不用被服を売ることは少ない傾向にある。買い取りをする古着屋が少ないことや買い取り価格が低いことも要因と考えられる。

「フリーマーケット」では、被服を入手する学生よりも出品する学生がわずかに多く出現した。

自分で「小物等に作りかえて再利用する」学生は女子にわずかにしかいない。一度不用となった被服に何らかの手を加えて、自己の衣生活の中で再び活用しようという行為はほとんど無い状況であった。

Table 8 Students for throw away and store of disused clothing except underwears.
(1st and 2nd choice)

Items	Male n=87		Female n=90		Total n=177	
	(n)	(%)	(n)	(%)	(n)	(%)
Throw away and store all items	19	21.8	14	15.6	33	18.6
Throw all items away	35	40.2	35	38.9	70	39.5
Store all items	37	42.5	36	40.0	73	41.2
Put some items to recyclable waste	0	0.0	7	7.8	7	4.0

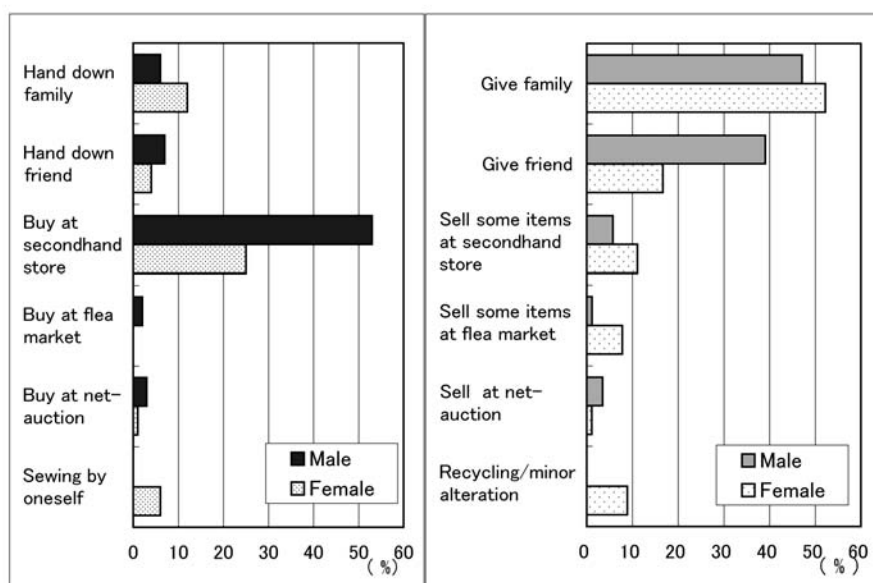


Fig.2 Methods of getting vs dealing with clothing. (1st and 2nd choice)

3. 4 不用被服のリサイクル意識

3. 4. 1 不用被服の回収方法認知度

自分の地域で行っている不用被服の回収方法について尋ねた結果をTable 9 に示した。

各自治体では、可燃ゴミと不燃物の分別収集を行っており、さらに被服はじめ資源物の受入施設もある¹⁰⁾。チラシ・パンフレット・ホームページ等で広報しているが、不用被服の回収方法を知っているのは、全学生の 11.3%と認知度は低かった。

不用被服の処理方法として「資源物受入施設に持っていく」学生が少なかったのは、資源物受入施設があることを知らないことも要因と言える。

アパートや下宿・寮に住んでいる学生は、ゴミは自分で処理していることから、不用被服の回収方法を知っていると考えられたが、分散分析の結果、自宅学生との間に有意差は認められなかった。さらに男女間にも有意差は認められなかった。

Table 9 Do you know a location of recyclable resource collections?
(number)

Dwelling		Male	Female	Total
Home	Yes	1	2	3
	No	17	22	39
	Total	18	24	42
Apartment and others	Yes	8	9	17
	No	61	57	118
	Total	69	66	135

Table 10 Have you ever desired that the place of recyclable waste collections is in the neighborhood?
(number)

Group	Desire	Male	Female **	Total
Know the place	Never	7	3	10
	Slightly	2	6	8
	Considerably		2	2
	Total	9	11	20
Don't know the place	Never	52	29	81
	Slightly	24	38	62
	Considerably	2	12	14
	Total	78	79	157

**: $p < 0.01$ between gender

Table 11 Do you use this service if that collect recyclable disused clothing?
(number)

Dwelling		Male	Female *	Total
Home	Yes	11	20	31
	No	7	4	11
	Total	18	24	42
Apartment and others	Yes	39	48	87
	No	30	18	48
	Total	69	66	135

*: $p < 0.05$ between gender

3. 4. 2 不用被服の回収要望

不用になった被服の回収場所が身近にあればいいと思ったことがあるかどうか質問した結果をTable 10 に示した。

不用被服の回収場所が身近にあることを強く思ったことがあるのは全学生の 9.0%, 少し思ったことがあるのは 39.5%であった。男女別では女子の 64.4%は、男子の 32.2%より有意に多く望んでいた。

具体的な不用被服の回収方法は知らなかったが、半数近い学生は多少なりとも身近に回収場所を望んでいたことになる。

3.3.2 で示したように、不用被服は「捨てる」学生が多く可燃物として廃棄されているが、もし身近に回収場所があれば資源物として出す可能性がある。

不用になった被服を回収してもらえらるなら、積極的に利用するかどうか尋ねた結果をTable 11 に示した。

全学生の 66.7%が「利用したい」と回答した。男子の 57.5%, 女子の 75.5%と女子が有意に要望していた。この割合は死蔵被服があると認識が多い女子の方が、被服についても再利用やリサイクルを含め何とか処理しようという意識があったのではないかと考える。

これまで不用被服を可燃ゴミとして廃棄していた学生は、自分から資源物回収場所まで持参するほどの積極性はないが、可燃ゴミ同様に回収してもらえらるなら利用したいと願望しているのではないかと推察される。

被服は枚数が増えると重量も増す。車を所有していない学生にとって、資源物受入施設まで搬入する手だてが乏しい。被服を不燃物分別回収で扱っている自治体は無いので、透明ビニール袋に入れるなどして、身近で分別収集することも検討していくことを要望したい。

また、繊維製品のリサイクルガイドラインが改定され、事業者は消費者に対しても広報、啓発活動を促進することが求められている¹⁰⁾。学校関係者も含め、生活者である学生に対しては、被服も資源に成り得ることを伝えたり、廃棄処分以外の方法があることや回収場所・方法について情報提供をしていく必要がある。

4. まとめ

大学生の被服入手方法と処分方法、被服のリサイクル意識について調査したところ、次のことが明らかとなった。

1. 被服入手方法として、専門店やデパートで新

品を購入することが多いが、下着以外では古着屋の利用も多かった。

2. 死蔵被服があると認識している学生は男女とも半数以上に達し、特に女子が有意に多かった。死蔵被服の種類では、男子はTシャツ、女子ではパンツ・スカート類が最も多かった。

3. 被服を不用になる理由として「しみ・汚れ・色あせ」「サイズが合わなくなった」が多いが、次に多かった理由は男子では「着飽きた」、女子では「流行遅れ」「すり切れ・破れ」と異なった。

4. 不用になった被服の処分方法として、「捨てる」「そのまま放置」が上位を占めた。被服ライフサイクル延長に繋がる行為としては、家族や友人に譲ることを行っていた。

5. 不用被服の自治体回収方法を知っている学生は 11.3%しかなく認知度が低い。身近に回収場所があればよいと思った経験がある学生は 44.5%であり、女子が男子より有意に多かった。もし、回収してもらえらるなら積極的に利用したい学生は 66.7%と多かった。

これらの結果から、学生は不用な被服を所持しているが、被服の処分方法について情報不足であることが明らかとなった。資源に成り得ることを伝えたり、廃棄処分以外の方法があることや回収場所・方法について情報提供をしたりする必要がある。

引用文献

- 1) 環境庁, 「循環型社会形成推進基本法」 2000.5.26 制定, 6.2 公布
- 2) 環境庁, 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」, 2000.5.31, 改正 2003.7.16
- 3) 平塚尚三郎, 「繊維製品のリサイクルについて」, 繊維消誌, 39(1), 18-25 (1998)
- 4) 経済産業省, 「繊維製品リサイクル懇談会報告書」, (2001) p. 3
- 5) 木田豊, 「アパレル製品リサイクルシステムについて」繊維消誌, 43(12), 805-811 (2002)
- 6) 科学技術庁資源調査会, 「家庭生活におけるエネルギー有効利用」(1994) p.11, 29, 46
- 7) 日本規格協会, 「日本人の体格調査報告書」(1984)
- 8) 岡村美之里・諸岡晴美・中川眸, 「小・中・高等学校における体系的な衣生活教育に関する研究(2)」, 日本家庭科教育学会誌, 41(1), 25-

32(1998)

- 9) 小林久美・長山芳子・松園美和,「教員志望
学生の被服購入時の意識と衣生活の実態」, 九
州女子大学紀要, 41(1), 11-26(2004)
- 10) 宗像市公式ホームページ: <http://www.city.munakata.fukuoka.jp/php/top.php>
- 11) 産業構造審議会,「品目別廃棄物処理・リサ
イクルガイドライン」(2006) p.17

